全国興行生活衛生同業組合連合会

換気実証実験の公開で映画館の安全性を証明

全国興行生活衛生同業組合連合会（以下、全興連）は生衛法に基づき組織された、各都道府県の生活衛生同業組合によって構成される唯一の団体。組合員の振興・衛生施設・安全施設の維持、改善および経営の近代化を図るための情報研究および指導、あるいは組合員の振興・経営環境の安定化を図るための活動支援、利用者拡大事業を促進するため「映画館に行こう！」実行委員会への協力、劇場・映画館のサービス強化の指導などを行う。

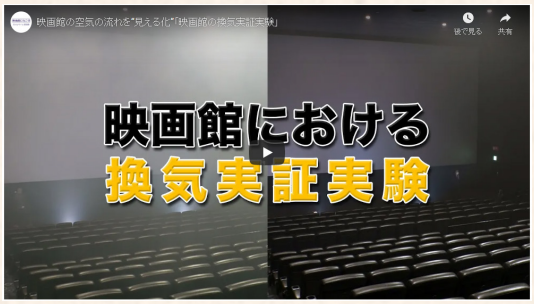
住所：〒105-0004　東京都港区新橋 6-8-2　全国生衛会館 6 F
創業：1957（昭和 32）年
組合員数：全国 47 都道府県の興行組合
https://www.zenkoren.or.jp

background 背景

2020 年４月上旬の緊急事態宣言発令により、映画館は休業を余儀なくされ、同時に、新作映画の公開延期やネット配信が相次いだ。

5月下旬の宣言解除に伴い、営業再開は進んだものの、新作映画の作品数の減少や座席収容率 50%の制限によって厳しい経営状況は続いていた。6月下旬の都道府県をまたぐ移動自粛の緩和を背景に、ようやく映画館でも夏興行ヒット作が生まれるようになった。

また、9月中旬の政府のイベント規制の緩和を受けて、映画館は「全座席販売（100%）で食事不可（飲み物の販売は可）」とするか、あるいは「座席 50%販売で飲食可」とするかを選択し営業することとなった。



換気実証実験の動画は YouTube でも公開している

連合会／お客様／営業者の声

いま映画界は、これまで経験したことのない大変な苦境に陥っています。すべての映画館と映画関係者が力を合わせ、この苦難を乗り越えるよう頑張っています。映画館で映画を鑑賞することで得られる感動や活力を途絶えることなく提供できるよう、全興連では映画館の支援に全力を尽くしています。感染対策が徹底されている映画館は、安心・安全な場所です。お客さまにも、コロナ禍における映画鑑賞のマナーを守り、安全に映画館で映画を観られるように、ご協力をお願いしています。

action 取組

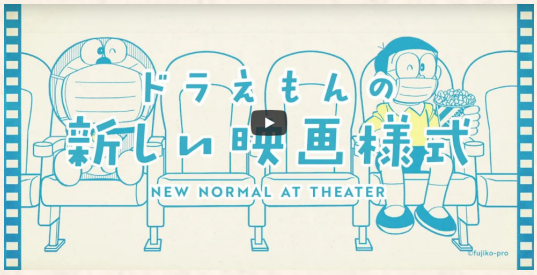
映画館の安全性を科学的に実証

全興連では、政府の感染症対策専門家会議の提言に基づき、5月22日に「映画館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（8月、9月に2回改訂）を公開し、映画館・劇場に対し、衛生管理・従業員の健康管理・来館者の体温や体調の確認など、3密を回避する感染防止策の徹底を指導した。

映画館は、もともと「興行場法」に基づき上映中も十分な換気が行われていたが、一般には『映画館は密閉空間で、感染リスクが高い施設』との根強い誤解があった。そこで全興連では、実際の映画館において、空気の流れを“可視化”する換気実験を行った。実験に立ち会った感染症専門医から、映画館では「最低限以上の換気がなされ安全性が担保されている」との評価をもらった。換気対策の面からも、映画館で数時間過ごしても安全であることが改めて科学的に実証されたのである。この結果は、7月末から全興連と全国の映画館HPで公開され、映画館でも上映されることで、一般の人たちの啓発に役立てている。

また、全興連では、以前より「映画館に行こうキャンペーン」（日本映画製作者連盟、外国映画輸入配給協会、モーションピクチャー・アソシエーションの映画3団体との協働）活動を実施してきた。コロナ禍の状況においては、製作・配給・興行の立場を超えた、より一層の団結が必要との認識から、『映画館は安全・安心な場所で、そして何より楽しい場所であること』を訴える活動に力を入れており、映画関係者の協力も得て、ポスター、SNS、YouTube等で活発な広報活動を展開している。

「映画館にいこう!」実行委員会の公式Webサイト



映画館で待ってるよ！「ドラえもんの新しい映画様式」動画

future 今後

新型コロナウイルスの感染状況は増加傾向にあり、これからも油断を許さない状況にある。

引き続き、With コロナ時代の「新しい生活様式」での映画の楽しみ方として、お客さまにはマスク着用、館内での会話禁止、手指消毒などの協力を求めていく。さらに、映画館側でも館内消毒、スタッフのマスクやフェイスガード着用、健康管理など感染防止策を徹底し、安心・安全で楽しい場所としての映画館と付帯サービスの提供に努めていくという。